



福岡県

KITAKYUSHU CITY

北九州市



SDGs

(持続可能な開発目標)とは

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までの世界共通の開発目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール(目標)から構成され「誰一人として取り残さない」ことをスローガンに、開発途上国のみならず、先進国も取り組むものとされています。

SDGsの先進都市北九州市

日本の近代化を産業面から推進した北九州市は、「七色の煙」や「死の海」と表現される深刻な公害を経験しました。その公害を市民、企業、大学などのパートナーシップで克服した北九州市は、「世界の環境首都」として、国内での環境づくりだけでなく、海外への環境国際協力を進めてきました。

SDGsのモデルケースを世界中が模索する中、北九州市の取り組みはSDGsを先取りするものとして、国内外から高い評価を受けています。

今回は、その北九州市の取り組みをご紹介します。



響灘に面する「響灘風力発電施設」

所在地：北九州市若松区響町2丁目

交通アクセス：白島展示館（駐車場有）より徒歩15分

市営バス「エコタウンセンター前」下車徒歩20分

北九州市とSDGs

北九州市では、経済成長期の公害克服から、次のステージを目指し、国から選定された「環境モデル都市」「環境未来都市」として、循環型社会や低炭素社会、超高齢化対策などの取り組みを進めてきました。特に、風力、バイオマス等の地域エネルギーの拠点化や、環境国際協力などをはじめとする本市の取り組みは、SDGsを先取りするものとして、2017年12月の第1回「ジャパンSDGsアワード」特別賞の受賞、2018年4月のOECDによる「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」、同年6月に国から「SDGs未来都市」に選定されるなど、国内外から高く評価されています。

SDGs達成に向けた具体的な取り組みⅠ 海外水ビジネスの推進

開発途上国では持続可能な都市づくりが求められている一方で、必要とされる具体的な政策や技術は多種多様です。北九州市では、これまでの「顔の見えるお付き合い」を生かしたオーダーメイド方式による環境面での都市間協力を進めてきました。この環境国際協力を持続可能なものにするため、ボランティアベースだけでなく、WIN・WINとなるビジネスベースへのステップアップに取り組んでいます。

「プノンペンの奇跡」と称された実績をもつ上下水道部門では、官民連携による水ビジネス推進組織である「北九州市海外水ビジネス推進協議会」(<http://kowba.jp/>)を中心に、官民の技術やノウハウを結集し、海外水ビジネスを展開してい

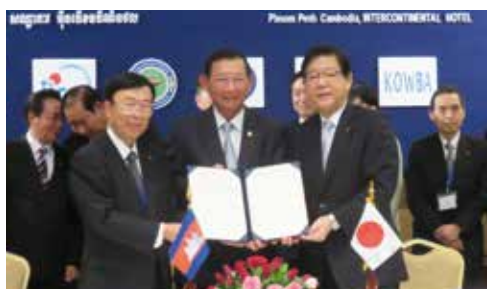
ます。2019年3月には、カンボジア王国コンポントム州都における上水道拡張事業について、北九州市海外水ビジネス推進協議会の会員で構成する共同企業体が受注するなど、実績を積み重ねています。



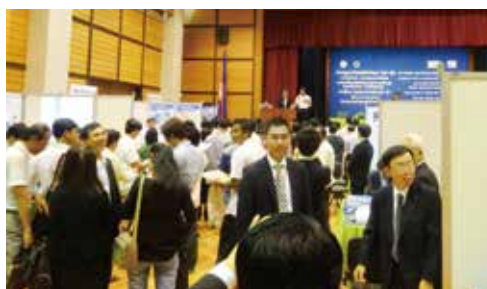
カンボジアの地方都市での技術協力の様子



ベトナムに完成したろ過設備



カンボジア工業手工業省と覚書締結



カンボジアでの展示商談会





OECDとの共同記者会見 (2018.4)



SDGs未来都市選定市長会見 (2018.6)

SDGsの採択 (2015年)



環境モデル都市 北九州市

環境モデル都市 (2008年)



Green Frontier
環境未来都市 北九州市
Green City of Kitakyushu

環境未来都市 (2011年)



メガソーラー



バイオマス発電所



風力発電



多様なエネルギー供給の総合ショールーム【響灘地区】

SDGs達成に向けた 具体的な取り組みⅡ 地域エネルギーの 拠点化

北九州市では、エネルギーや資源の地域循環を進め、持続可能な産業を振興するため、地域エネルギー

の拠点化を推進しています。平成22年度からは、風力発電関連産業の「総合拠点」の形成を目指した「グリーンエネルギーポートひびき」事業に取り組んでいます。

「総合拠点」とは、イメージ図のように入・移出入、組み立て、積み出し、O&Mなど風車に関するあらゆる

機能を集積させたものです。これまでの取り組みにより、実証施設や関連施設・企業の集積が進んできています。

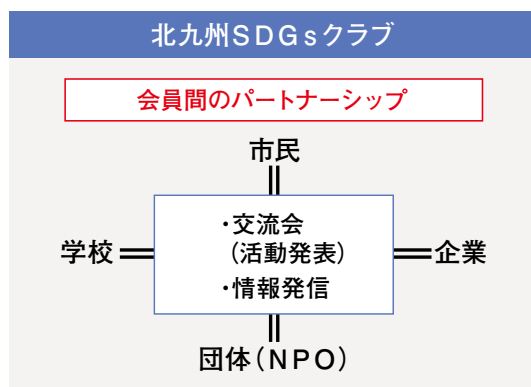
中でも、最大22万kWの風力発電を予定する響灘洋上ウインドファーム事業では、令和4年度の着工に向け、事業者により、各種手続きなどが進められています。



北九州発！
SDGsの取り組みを
サポートする
プラットフォーム

北九州SDGsクラブ

様々な地域課題を解決し、SDGsを達成するには、多様なステークホルダーが連携し、市民一丸となつて取り組む必要があります。そのため、北九州市では、大学や企業、NPO、個人など、多様なス



クラブ設立の様子



交流会の様子



テークホルダーによる交流の場として、2018年11月に「北九州SDGsクラブ」を創設しました。クラブでは、
● 交流会、勉強会、ビジネスセミナー等の開催
● 本クラブのホームページを活用した情報発信
● 表彰制度の実施や、「SDGsクラブ会員プロジェクトチーム」などを通じた、成功事例の創出などの取り組みを行っています。
2019年8月に開催された第2回交流会では、約140名の

会員が参加し、取り組みの発表や、会員間の交流を行いました。今後は、会員間で地域課題について解決に向けた取り組みの具体化を行うSDGsクラブ会員プロジェクトを推進していきます。クラブでは、SDGsに取り組む市民・企業・団体の参加を引き続き募集しています。クラブ入会は、ホームページ(<https://www.kitag-sdgs.com/>)から可能です。年会費等は不要です。

FFG主催・ 北九州市後援による 『北九州市SDGs セミナー』を開催

2019年8月29日にFFG北九州本社ビルにて『北九州市SDGsセミナー』を開催しました。『SDGs未来都市』を掲げ先進的な取り組みを行っている北九州市と連携し、SDGsについて分かりやすく伝え、取り組み事例を共有することにより、SDGsの更なる浸透を目的として開催に至ったものです。

当日は100名が参加、満席となりSDGsへの関心の高さが伺えるものとなりました。

セミナーでは、SDGパートナーズ有限会社の田瀬CEOをお招きし、「いまなぜ中小企業がSDGsに取り組むべきなのか」と題した講演や、北九州市とSDGsに積極的に取り組んでいる市内企業4社から取り組み事例を発表していただきました。

SDGsビジネス講座2019@北九州のご案内

SDGsを企業経営に実装する

各20名、合計40名

動きが加速しつつあります。しか

し、地方の企業、特に中小企業に

おいてはこれから取り組むといった

企業が多いのではないのでしょうか。

そのような中、昨年度に引き続き、

SDGsを企業経営に取り入れて

いただくための講座を開講しま

す。参加しやすいように日中クラ

スと夜間クラスを設定しました。

ふるってご参加ください。

■講座概要

主催 北九州ESD協議会

共催 公立大学法人北九州市立

大学 ほか

日程 12月11日～12月25日／1月

15日／2月5日／2月19日

／3月4日(計6回、いずれ

も水曜)

時間 【日中クラス】13時30分～

16時30分

【夜間クラス】18時30分～

21時30分

定員 【日中クラス】【夜間クラス】

受講料 45,000円(税別)

場所 北九州まなびとESDステーション(小倉北区魚町3丁目

3・20 中尾ビル地下1階)

内容 ①SDGsを理解する

②SDGsを体感する

③ケーススタディと金融

④SDGsビジョン策定

⑤SDGs具体化イメージ

⑥SDGsマッピングと新

規事業検討

特徴

●少人数のワークショップ形式で学

びます

●企業、行政、NPO等、多様な

方々と共に学びます

●事例報告やファシリテーターな

ど、適宜最先端の専門人材を招

聘し講義します

●全体監修と進行は、北九州市立

大学教授眞鍋和博が担当します

■申込み先

下記専用申込みフォームよりお申

込みください。

<https://forms.gle/SmYFsd89kGUc5Gvu9>

※申込み時、必須項目

企業・団体名／部署・役職／氏名

／連絡先(E-mail／電話)／希望

クラス【昼間】または【夜間】

■申込み期限

2019年11月29日(金)17時

■申込みについて

不明な点がございましたら左記

メールアドレスへご連絡ください。

☐cocoplus@kiakyu-u.ac.jp

■お問合せ

公立大学法人 北九州市立大学

就職支援室COC+担当

☎093-964-4035

地域・研究支援課

☎093-964-4194



セミナーの参加者からは「SDGsを経営に組み込む重要性を改めて感じた」「SDGsの本質を知り腹落ちした」といった前向きな意見を多くいただき、SDGsについて理解を深め、SDGsに取り組む意義を伝えることができました。

「SDGsは、新たなビジネスチャンスや人材確保など、企業にとつてのメリットにつながります。今回のセミナーが、SDGsに取り組むきっかけとなれば幸いです」と北九州市企画調整局SDGs推進室榊尾美栄子室長は言います。今後も金融機関としてSDGs達成に向けた取り組みを進めてまいります。

(担当:公務金融法人部 黒田)



SDGパートナーズ有限会社 田瀬CEO